

予算審査特別委員会  
総括質疑

深見 迪 議員

アイヌ新法に関わって博物館の予算請求をしては

**問** アイヌ新法の中で、「アイヌに関する文化財の展示を行っている博物館」に予算を出すとして書いてあるが、標茶町の博物館「ニタイ・ト」について予算請求をしてはどうか。

**答** アイヌ新法の国の補助金について、この新法の内容をさらに把握しながら、一定の形を作って、申請の手続きをすめられたらいいのかなと考えている。

新型コロナで一斉休校にしたが問題はないか

**問** 急な一斉休校要請で問題は起きていないか。文部科学大臣は、「設置者が学校を開くと判断すれば尊重する」と言っているが、どのような方針か。

**答** 子どもたちの健康管理を考えて、一斉休校にしたが、今は分散登校にしている。家庭訪問を含めて子どもたちの様子を確かめている。

B型就労支援事業所、町内の商店、飲食業への支援を

**問** 新型コロナ感染症の影響により、B型就労支援施設の売り上げが激減しているが、支援は考えていないか。

**答** あわせて、商店や飲食店の売り上げが激減していると思うが支援策をぜひ検討してほしい。

新型コロナで学童保育、放課後等デイサービスの運営はどうなっているか

**問** 学童保育は通所者数が増えているか、運営はどうなっているのか、それから、障がいを持つ子どもたちが通う放課後等デイサービスの運営はどうなっているのか。

**答** 学童保育については、1施設当たり1日1万円（後に3万2000円）を追加補助するといつもものだが申請は考えているか。

**問** 学童保育は予防も兼ねて現在1年生から3年生まで午前中から開所し受け入れている。予算申請は、国の方から書類の方もだんだん届きだし、申請に向けて手続きをしている最中である。発達に障がいのある児童の受け入れは、各事業所が（放課後等デイサービス）通常と同じような状態で、受け入れをしてきている。

**答** 学童保育は予防も兼ねて現在1年生から3年生まで午前中から開所し受け入れている。予算申請は、国の方から書類の方もだんだん届きだし、申請に向けて手続きをしている最中である。発達に障がいのある児童の受け入れは、各事業所が（放課後等デイサービス）通常と同じような状態で、受け入れをしてきている。

地域社会再生事業予算の活用を

**問** 政府の新年度予算の中で地域社会再生事業に対する予算が計上されている。道が2、100億円市町村が2、100億円ということで予算化されている。

**答** 地域おこし協力隊の人たちがこれに該当するのではないかと思うがどうか。

**問** また、技術者が非常に不足している状況があるが、技術職員不足のために国がそれを拡充するために交付税措置を行うということが新たに盛り込まれた。ぜひ調べて活用すべきではないか。

**答** 地方における技術者不足に対応するための政策だということと、報道されていたのは目になっている。

**問** 町内の各職場、各産業において技術者不足というのはこれまででも散々議論をされていて、確保というのは非常に大事なことである。国等が用意された政策、制度について活用できるものはどんどん取り込んで前向きに対処していききたい。



学童保育

類瀬 光信 議員

釧路川増水時の内水処理対策の進捗状況は

**問** 一昨日の避難指示も含め水害が頻発している。

町は、水害による人的被害を出さないために、町民の自助努力が重要として、タイムラインの策定に取組んでいる。しかし、インフラと財産を守るためには、ハード面での対策が必要である。また、標茶町が「度々水害に見舞われている町」とか「水害対策の遅れている町」といった負の印象を抱かれないよう、抜本的な水害対策のギアをひとつ上げるべきだ。

特に市街地の内水氾濫については、総合的な排水対策として、排水機場や樋門の再整備が議論されてきた。

そんな中、昨年三月の定例会で、富士公園を遊水池や遊水公園として活用することについて「有効性が確認できれば十分検討に値する」と答弁している。その進捗状況について伺う。

**答** 駅前地区、桜も含めた内水処理計画の策定を進めている。現在は、計画に必要なポンタワ川を含む釧路川支流の資料とデータを収集している段階である。



3月11日の釧路川の増水

遠隔手話サービスを窓口へ導入できないか

**問** 本町では、手話通訳が必要な場合、どう対応しているか伺う。

また、今後手話通訳者を配置する可能性はあるか。

公益財団法人北海道聾唖連盟が提供している「遠隔手話サービス」というタブレット端末を使ったテレビ電話形式のサービスがある。こうしたシステムを利用し、手話通訳を必要とする町民の利便性を高める考えはないか。

**答** 通常の窓口業務は、筆談等で対応している。町民から手話通訳対応の要請があった場合、公益財団法人北海道聾唖連盟に確保を委託している。日時、場所等を指定し、手話通訳者が派遣されるシステムとなっている。

町が手話通訳者を確保することは難しい。今後、「遠隔手話通訳サービス」について研究し、現状より効率的なシステムであれば導入も含めて検討したい。

町づくりポストに寄せられた意見の取扱いは

**問** 町づくりポストの設置目的は、町民から町政に対する本音や意見、率直な疑問を吸い上げることと思いがどうか。また、町民から寄せられた意見や質問には、どのように回答しているのか伺う。

町づくりポストに投稿する町民は、自身の素性を公表し覚悟を持って質問している。しかし、「議会で議論済み」であるとか「議会だよりの中で触れられている」からなどの理由で、回答並びに広報への掲載を見送った事例がある。その判断に至る経過が町民には見えないため、意見の選別や、広報が公平性に欠けているとの誤解を生みかねない。丁寧な対応が必要ではないか。

**答** 町づくりポストは、町政に対する意見、要望、その他諸々について気軽に尋ねるためのもので、文書による回答と、広報への掲載を選択可能にしている。

広報誌には、限られた紙面の中でより多くの情報を町民に届けるといふ使命があり、回答の仕方も状況に応じ文書によることもある。

大切なのは、町民に対して隠し事をせず、公平に正しい内容を伝えることだ。今回指摘のあった事案も、掲載しないと決定したわけではない。



町づくりポスト

松下 哲也 議員

**住民総合健診の受診率向上を**

**問** 住民総合健診の受診率はどのような状況か。特に久菩呂会場はどのような状況になっているか。

また、受診率の向上に対し、どのような対策を取っていくか伺う。

**答** 今年度の実績は、8会場で延べ1,091人の受診となっている。久菩呂会場は22人になっている。普及啓もうについては、アクティブシニア教室を各地区で開催している。



住民総合健診

**寄贈農機具の整備管理を**

**問** 寄贈農機具は、現在どう管理されているか。

第三者の視点で選定された農機具を重点に整備してはどうか。

**答** 現在オソベツにあるD型ハウスで管理している。

1台は、農業文化財再生事業できれいな形で再生している。町内農機具メーカーで構成している釧路地区機械化協議会で選定されたものを整備している。

本多 耕平 議員

**マスク不足の対策を**

**問** 新型コロナウイルスによる感染予防マスク不足が病院、やすらぎ園等であると聞くがどのような対策を行政としてとっているか。



**答** 職員が手作りで職員一人に2枚配布している。

感染症対策委員会をことあるごとに開催し、介護員、看護師の意見も聞き対応している。

**めん羊振興の事業展開は**

**問** めん羊振興に関する条例がこの度成立したが、具体的にどのような事業展開をしていくのか。

**答** 条例の趣旨にあるように、観光振興、産業振興を目的にしているので特段に今まで行っていることを変えることはない。

その上で知名度を上げて、しっかりと生産をするということが振興策の条例提案である。

**地域おこし協力隊の予算内容は**

**問** 地域おこし協力隊の事業費内容はどのようなになっているか。

**答** 移住促進事業の「馬とともに暮らせるまち標茶」の事業予算は、1,365万円である。

本町に来て欲しい、そのきっかけづくりをしているというのである。

**有害鳥獣駆除事業内容は**

**問** 有害鳥獣駆除事業で、今年には熊駆除事業が含まれていると聞く。

どの地区で、どのような事業で事業費はいくらか。

**答** 被害のあった牧場に緩衝設置の事業があり、機器用品では、新久菩呂牧野、上茶安の個人の牧場、共同牧野、東国牧野、共和牧野、中央牧野、下オソベツ牧野を整備する予定である。

事業費は、使用料、備品、補助金の合計で、396万9千円である。

鈴木 裕美 議員

**新型コロナウイルスの経済的影響に町独自で支援を**

**問** 新型コロナウイルスによって、飲食店等では宴会が全てキャンセルになったり、営業時間を短縮したりなど、経済に影響が出ているのではないか。さらにパートで働く人たちも収入減となっていないか調査をして、町独自の支援策を講じてはどうか。

本町で患者が発症した時を想定し、その対策を考えているのか。医療や介護施設は、人手不足と言われている中、どう対応するのか考えておく必要があるのではないか。

**答** 旅館業を中心とした影響調査を行った。1月末から3月10日、食堂、居酒屋等飲食業で2千万円、ホテル、旅館等約2千万円、中国からの部品等が来ない等、建設業関係、自動車産業、外出を控えているというところで、ガソリン販売などで約1千万円程の影響が出ていると商工会から報告を受けている。

国、道の動向を注視しながら、今後町としてどのような形で対応できるかを検討していきたい。

**避難についての意識啓発を**

**問** 3月11日の避難指示では、対象人数は少なかったが、避難しない人たちが多いと感じた。

一昨年の避難指示の状況と比べ、このくらいなら大丈夫との思いで避難をしなかったのではないかと。万一事故が起きた時、避難しなかったことを自己責任だけで済ますことはできない。

最終的には町の責任が問われるのではないかと。今後避難指示が出されることは考えられる。

避難についての意識啓発が必要と考えるがどうか。

**答** 自分の身は自分で守るという前提で、自分で避難できない人を誰かがサポートしていく体制に作り上げ、いち早く避難することを最大のテーマとして、町内会とともに取り組んでいく。

**博物館に清掃員の配置は**

**問** 博物館の報酬予算の内訳はどのようなになっているのか。また、業務委託料とは何か。清掃員が配置されていないが、今年度から配置をするのか。

**答** フルタイムが2名、パートタイムが3名、内1名が清掃員で採用する。

**意見書**

次の2件の意見書が提出されましたがいずれも否決されました。

◆国民健康保険の交付金減額（ペナルティ導入）に反対する意見書

高い国保税の負担を少しでも安く抑えるために市町村が一般会計から繰り入れを行うと、国の交付金を減額するという仕組みを、2020年から導入することに反対する内容です。

◆教員の変形労働時間制を導入しないことを求める

忙しい教員の労働時間を1日10時間労働まで可能とし、夏、冬休みなどにその分を休ませ、平均で8時間労働にするという制度導入に反対する内容です。

**決議書**

◆「民族共生の未来を切り開く」決議

アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ「民族共生の未来を切り開く」内容で、議会は可決しました。



標茶町博物館 ニタイ・ト アイヌ文化展示室